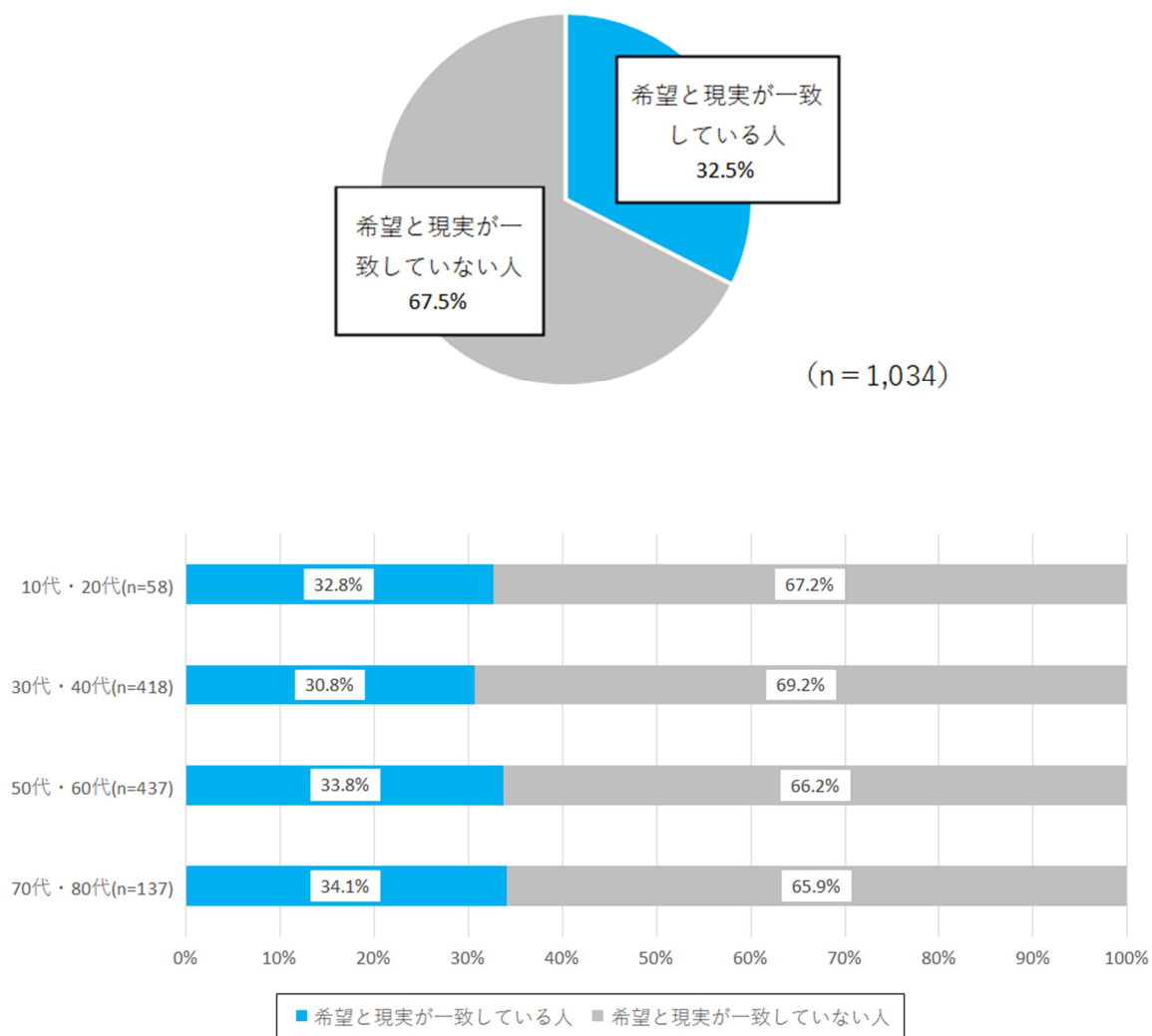


【市民意識調査(LINE回答・年代別)】

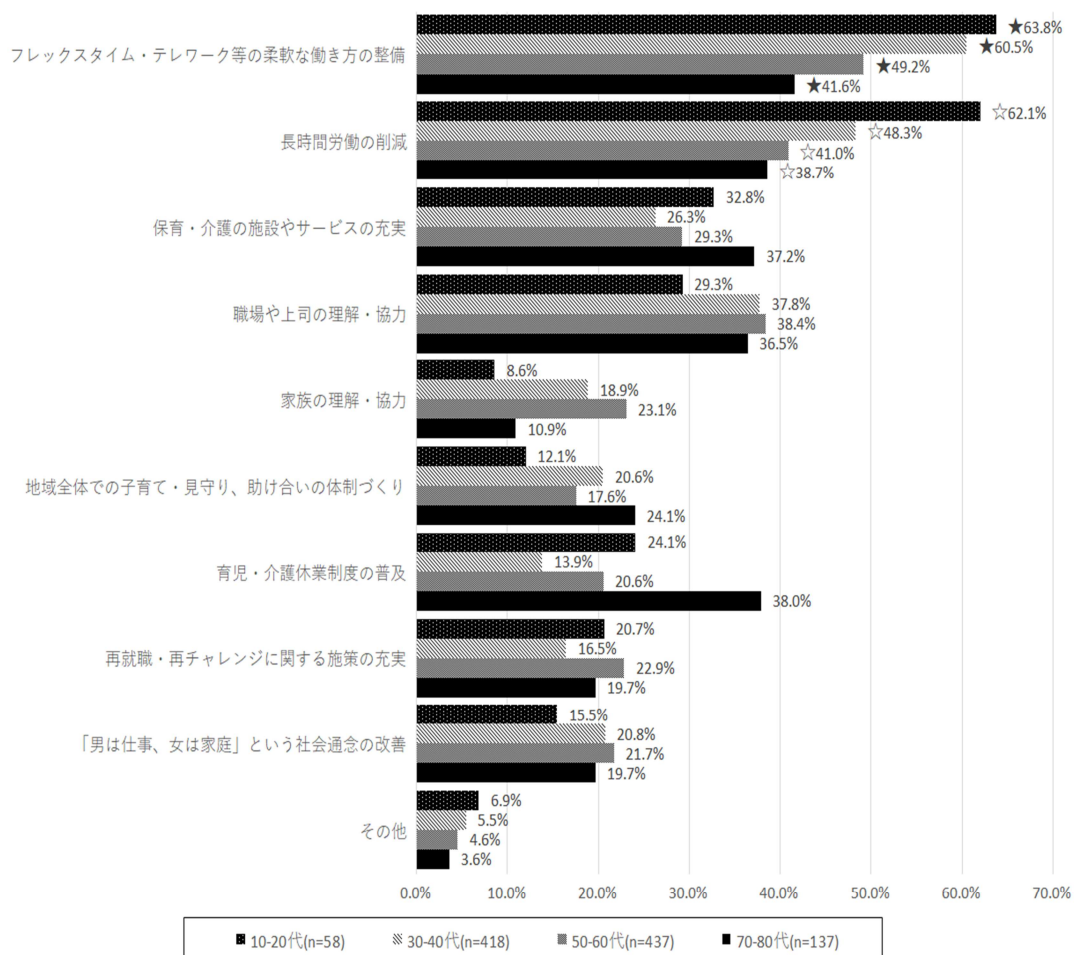
問7 希望と現実の状態



無作為回答は、全体で「希望と現実が一致している人 (38.1%)」、「希望と現実が一致していない人 (61.9%)」、年代別も各年代で、一致している人がLINE回答より割合は多くなっている。

問8 ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要なこと

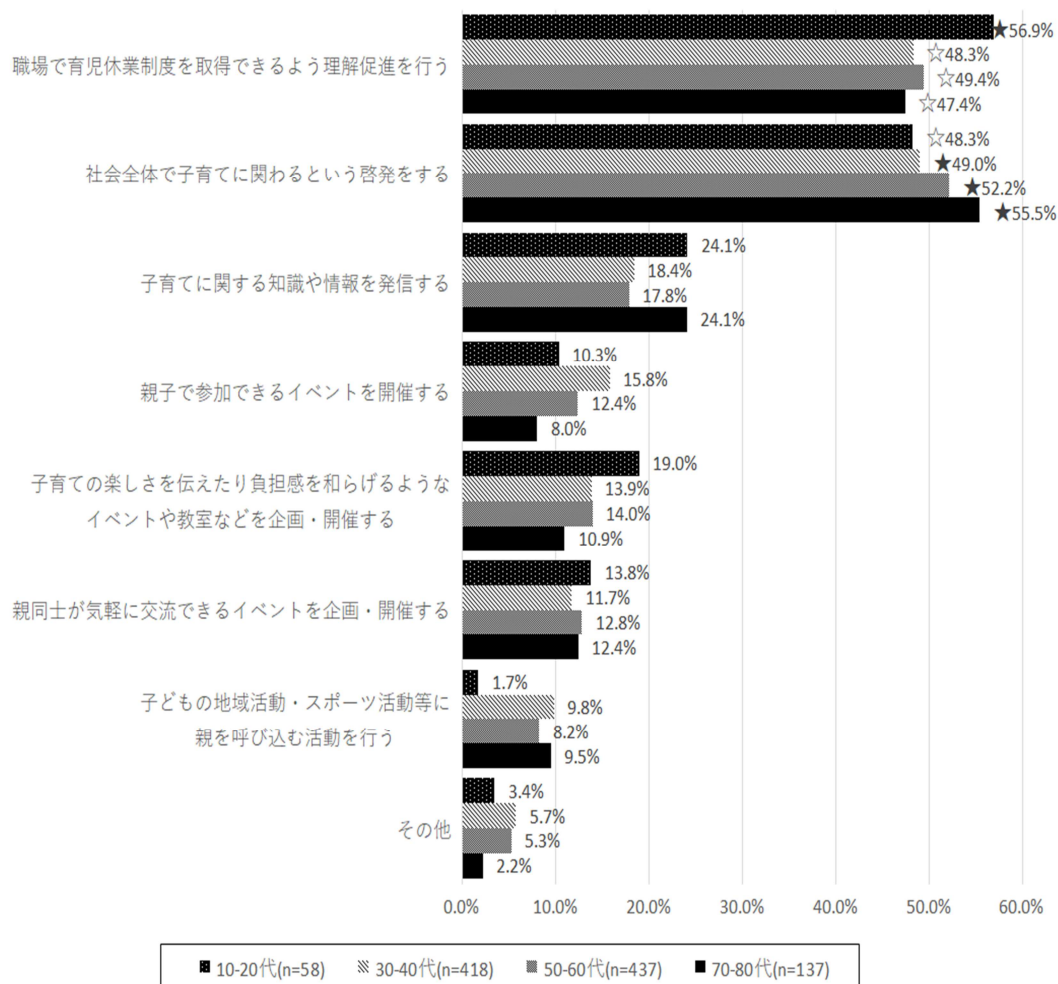
	10-20代(n=58)	30-40代(n=418)	50-60代(n=437)	70-80代(n=137)
その他	6.9%	5.5%	4.6%	3.6%
「男は仕事、女は家庭」という社会通念の改善	15.5%	20.8%	21.7%	19.7%
再就職・再チャレンジに関する施策の充実	20.7%	16.5%	22.9%	19.7%
育児・介護休業制度の普及	24.1%	13.9%	20.6%	38.0%
地域全体での子育て・見守り、助け合いの体制づくり	12.1%	20.6%	17.6%	24.1%
家族の理解・協力	8.6%	18.9%	23.1%	10.9%
職場や上司の理解・協力	29.3%	37.8%	38.4%	36.5%
保育・介護の施設やサービスの充実	32.8%	26.3%	29.3%	37.2%
長時間労働の削減	62.1%	48.3%	41.0%	38.7%
フレックスタイム・テレワーク等の柔軟な働き方の整備	63.8%	60.5%	49.2%	41.6%



無作為回答は、70・80代以外の年代で「フレックスタイム・テレワーク等の柔軟な働き方の整備」、70・80代は「保育・介護施設やサービスの充実」が最も多い。2位は、30・40代以外の年代で「長時間労働の削減」、30・40代は「職場や上司の理解・協力」となっている。

問 18 仕事と育児のための子育て支援策

	10-20代(n=58)	30-40代(n=418)	50-60代(n=437)	70-80代(n=137)
その他	3.4%	5.7%	5.3%	2.2%
子どもの地域活動・スポーツ活動等に親を呼び込む活動を行う	1.7%	9.8%	8.2%	9.5%
親同士が気軽に交流できるイベントを企画・開催する	13.8%	11.7%	12.8%	12.4%
子育ての楽しさを伝えたり負担感を和らげるようなイベントや教室などを企画・開催する	19.0%	13.9%	14.0%	10.9%
親子で参加できるイベントを開催する	10.3%	15.8%	12.4%	8.0%
子育てに関する知識や情報を発信する	24.1%	18.4%	17.8%	24.1%
社会全体で子育てに関わるという啓発をする	48.3%	49.0%	52.2%	55.5%
職場で育児休業制度を取得できるよう理解促進を行う	56.9%	48.3%	49.4%	47.4%



無作為回答は、70・80代以外の年代で「職場で育児休業制度を取得できるよう理解促進を行う」、70・80代は「社会全体で子育てに関わるという啓発をする」（50・60代はこちらも1位）が最も多い。順位は違うが、上位2位の内容はLINEと同様。